

たのしいこといっぱいとしよかんへいこう!

2018

東近江市立図書館

八日市 (0748-24-1515)
永源寺 (0748-27-8050)
五個荘 (0748-48-2030)
愛東 (0749-46-2266)
湖東 (0749-45-2300)
能登川 (0748-42-7007)
蒲生 (0748-55-5701)

なつやすみ★おすすめ本

夏によむよむ

5年

6年



『もしも病院に犬がいたら』 いわさだ 岩貞るみこ/作 講談社

ベイリーの仕事は、ハンドラーの森田さんといっしょ一緒に、
重い病気の子どもたちを勇気づけ、笑顔にすること。
ベイリーとなら、いやな薬も、つらい手術しゆじゆつもがんばれる。

日本ではじめての“病院ではたらく犬”のお話です。

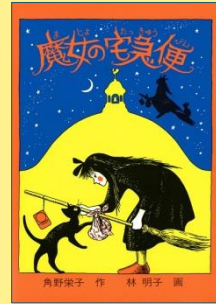
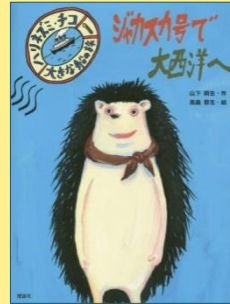
※ハンドラー …犬といっしょに病院ではたらく看護かんご師さん

『ジャスカ号で大西洋へ』 たいせいよう 山下明生/作 理論社

チコは、ポルトガルのナザレという漁村に住むハリネズミ。
ある日、友達が人間につかまると知り、急いであとを追いかけますが、いつの間にか豪華客船ごうかきやくせんに乗ることになって……。

小さなハリネズミだいはうけんの大冒険が始まります。

「ハリネズミ・チコ」のシリーズは4冊目まで出ています



『魔女の宅急便』 まじよ 角野栄子/作 かどのえいこ 福音館書店

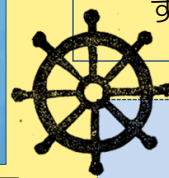
ある満月の夜、魔女の娘 むすめ キキは、黒猫のジジとくろねこほうきに乗って旅立ちました。13歳さいになったらよその町でひとり立ちをする、それが魔女のおきてなのです。
うみべ海辺の大きな町コリコに着いたキキは、宅急便のお店を始めました。

「魔女の宅急便」のシリーズは全部で6冊<特別編>も2冊出ています

『「エルマーのぼうけん」をかいた女性 ルース・S・ガネット』

まえざわあきえ 前沢明枝/作 福音館書店

あの物語を書いたのは、どんな人？ 3歳のころからおはなしを作って、10歳の時には一人で旅をして、大人になってからは7人の子どもを育てて……。ガネットさんはパワフルで、とってもすてきな人なんです。



『竜の騎士』 りゆう きし コルネーリア・フンケ/作 WAVE 出版



ある夜、倉庫にくらす少年ベンは、小妖精しょうようせいのコボルトと、銀色にかがやく竜に出会います。彼らは、竜の生まれ故郷である〈空の果て〉を探す旅をしていました。ベンは竜の背にのり、伝説をめぐる冒険ぼうけんへと飛び立ちます。



『珍獣ドクターの診察日記』 ちんじゅう しんさつ

たむかいけんいち 田向健一/作 ポプラ社

犬、ねこ、モモンガ、カエル、アリクイ、ワラビー、トナカイなど、獣医の田向先生がこれまで診察した動物はなんと100種類以上！ はじめて見る動物でも「むり」と言わず、どうすれば助けられるか、一生懸命いっしょうけんめい考えます。

『ふたりユースケ』 みたむらのふゆき 三田村信行/作 理論社



おおかわ 大川ユースケという男の子が住んでいた町に引っ越し
てきた、おがわ ぼく、な 小川ユースケ。亡くなったユースケと同じ
名前だし、かれ 顔もそっくりで、町の希望の星だった彼の生まれ
変わりだと期待されてしまう。ぼくはぼくなのに。

『ぼくらの山の学校』 やつかすみこ 八束澄子/作 PHP 研究所



小学4年のぼくは、学校にも家にも居場所がない。
そんな時、いばしょ 寮生活をする「山の学校」のことを知っ
て、行ってみることにした。キャンプをしたり友達
とけんかしたり、山で居場所をみつけたぼくの1年
の物語。

『11をさがして』 パトリア・ライリー・ギフ/作 文研出版



11 さい 歳の誕生 たんじょうび 日、サムはマックからのプレゼン
トを探すうち、やねうら 屋根裏で古い新聞記事を見つ
ける。そこには「ゆくえふめい 行方不明」の文字と おさな 幼い自分の
写真が……。記事の秘密を探るため、彼は転校生
のキャロラインに協力を求める。

夏に



よむよむ

5
6

『花あかりともして』 はっとりちはる 服部千春/作 出版ワークス



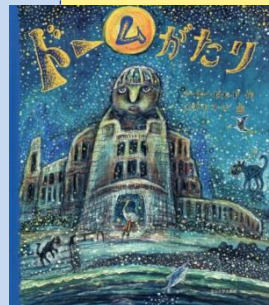
戦争のあいだは、ぜいたくは きんし 禁止。兵士に
なったお父さんが帰ってきた時の、目印にな
るよう植えた花。それすら、近所の人にとが
められて……。70年前の しずえ 静江おばあちゃん
の思いを、まご 孫の花がたどります。

『つくろ 繕い屋の娘カヤ』 ようたよりこ 曄田依子/作 岩崎書店



いなくなってしまった両親の帰りを待ちながら、
「繕い屋」をしているカヤ。思いがけず出会った、
動く こまいぬ 狛犬のミスマルとともに、森の神様の危機を
救うため、不思議な森へと出かけますが……。

『ドームがたり』 アーサー・ピナード/作
スズキコージ/絵 玉川大学出版部



広島 げんぱく の原爆ドームには、世界中からいろんな人が
やってきます。「はじめまして……」とドームくん
は語りかけます。建てられてから100年ちょっ
と。これまでドームくんが見たものはなんだったの
でしょう。

